

第2回これからの学びを実現する生駒南小・中学校の施設整備を考える会議 実施報告

令和5年12月11日(月)

1. 日 時

令和5年11月22日(水)15:00~17:00

2. 開催場所

生駒南小学校第二多目的室

3. 参加人数

17名(これからの学びを実現する生駒南小・中学校の施設整備を考える会議メンバー)

4. 実施方法

参加者17名を3グループ(6人、6人、5人)に分け、ワールドカフェ方式で合計6つのテーマについてグループディスカッションを実施。

5. 目 的

第1回会議を振り返りつつ、それぞれの立場における教育観や大切にしたい想いを共有しながら、これからの学びにおける理想の学校を明らかにし、基本構想の策定に繋げる。

6. 当日スケジュール

開会

挨拶

第1回会議の振り返り

アイスブレイク

思い出共有編

未来の学びを共有編

まとめ

閉会

7. 第2回会議の概要

【開会の挨拶(教育長)】

参加者の皆様、本日はお忙しいなかお集まりいただきましてありがとうございます。

今年度は横山先生に座長をお願いし、第1回は8月に実施させていただきました。本日は第2回目になります。第1回目は、小中一貫校の仕組みや予算、また、ハード面について、横山座長からお話いただきました。本日は、いつもとは少し違った雰囲気の中で自由に意見をを出していただくというのが主旨になります。これから地域の方々と一緒に学校を作っていくこととなりますが、そもそも学校ってそれぞれの中で、どのような、どういう思いがあるのか、どんな思い出になっているのか、それぞれの方々の学校に対する思いを出していただくのが前半となります。後半は、今とこれから先、まさに学校を作っていくことに対する思いを出していただきます。本日は、吉田友子さんにグラフィックレコーディングをお願いしており、最終的にどうまとめていただけるのかも私自身とても楽しみにしております。

本日、出していただいた意見をこれからの学校づくりに反映させていきたいですし、あの時の意見がこう反映されているんだということを後から振り返って残せる時間にさせていただきたいと考えています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局より】

第2回会議のファシリテーターの紹介 中川悠氏(地域コミュニティ推進課)

グラフィックレコーダーの紹介 吉田友子氏(スタジオポコ)

【第一回会議の振り返り(座長)】

8月8日には、建築の観点から一貫校の特長についてお話ししました。その後、皆様からお一人ずつ意見を出していただき、本当に活発な意見交換の場になったと思っています。本日は、今年度策定する南小中学校の建築に向けての基本構想を考えるため、色々なアイデアを出していただく、思いを出していただく、考えを出していただく、という場がございます。本日の内容の前に少しだけ、前回の振り返りをさせていただきます。

前回会議の主な意見

- ・小中一貫校ということで繋がりを作ってほしい。小学校1年生と6年生、小学生と中学生という異年齢がうまく繋がっていったら良い。従来のクラス単位や学年単位などに加えてより幅の広い年齢の子どもたちが一緒にいることによる出会いに期待している。
- ・小学校と中学校の違いによるギャップも解消されるんじゃないだろうか。
- ・小学校1年生と6年生というのも結構仲良くやっていけるのではないだろうか。
- ・先生方からも教員と一緒に職員室で過ごすことによって、多くのメリットがあるのではないだろうか、という意見があった。
- ・地域と学校がより繋がることによって、もっと楽しい活動が展開できるのではないだろうか。
- ・地域の力をより学校に提供できるような環境を作ることが大切ではないだろうか。
- ・地域コミュニティの拠点としての学校を位置付けるような取組が広がれば良い。
- ・様々な課題もあるかもしれないが、学校現場には基本的に大丈夫だという実感がある。
- ・学び方が大きく変わってきている現在において、従来型の施設で対応しきれなくなってきている。従来の一斉授業スタイルの教室環境が変わることで子どもたちの学びも大きく変わることを期待している。
- ・学校には避難所としての役割もあるので、そういう観点からの議論も必要。
- ・新しい環境に変わること、教員にとってはより働きやすい環境になるし、教育効果も上がるのではないだろうか。負担が増えるのではないかという意見もあるが、みんなで一緒に取り組めば負担はそんなに増えないように思うし、また逆に楽になる可能性もある。さらに地域の方の参画も同時に考えていけば、さらに先生方の負担も減るのではないだろうか。
- ・色々と課題もあるだろうが、一貫校に対する期待が高まった。
- ・みんなで変わる必要がある。地域も変わる、保護者も変わる、教職員も変わる、それによって子どもたちも変わる、そうやって良い方向に変わる契機となるように捉えたい。
- ・今までと同じ学校ではなく、新しい学校を作っていくのであるから、これまでの経験や固定観念に捉われずに、逆にそれを乗り越えていけるような取組も必要ではないだろうか。

以上のような意見を踏まえて、今日はみなさんの個人的な体験や意見を共有しながら進めていきたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

【アイスブレイク】

「できます」ゼッケンに記入し、参加者間で自己紹介と最近嬉しかったことの共有。

【思い出共有編】

A グループ 学校での友達との思い出

- ・5、6年の頃リリアンが流行っていた、学校前の商店で購入して長さを競った
- ・釣堀で友だちと釣りをして、お腹が空いた時にいっしょに食べたカップ麺の味を今でも覚えている
- ・下校の通学路を友だちといつもちがう道をさがしながら帰ったこと
- ・近所のお肉屋さんの「ポテト」を友だちとみんなで買いに行き、味つけもみんなでしてたのしかった!!!
- ・ミサガ作りをみんなでこうかんしたり作りあいつこしたりした
- ・毎日暗くなるまでみんなで遊んだ。(集落が小さかったので、男女一緒に)
- ・中学校のクラブは、顧問の先生はなしで、ほとんど自分たちで運営!
- ・部活動:教師になる原点、たくさんの友人ができた
- ・中学2年の時、野球部を作り一緒に苦労した仲間と今まで交流がある
- ・中学校での部活動が楽しかったこと
- ・同級生5人での登下校で、楽しかった

- ・小学5年生の時、新校舎に移れて新しい教室で勉強が出来た
- ・一番遠い所からの通学であったが(約1時間)、学校へ着くのは一番早かった
- ・担任の先生の家で友だちと泊まりに行ったこと
- ・(妹5歳)を連れて学校に通っていたら、友だちが助けてくれたこと
- ・中学生の頃の休み時間に女子でサッカーやバレーボールやドッジボールで時に男子と対決していた
- ・高校の部活帰りにかき氷を買って、電車の中で食べるのが楽しみだった
- ・小学校の時ゴム飛びをしていた
- ・ベランダで休み時間になると集まって話をする
- ・移動教室に行く時に、遠くて次の授業に間に合わないかとドキドキした
- ・ビン牛乳のキャップを集めてメンコにした
- ・授業中の発言回数を競い、学級で2位になった
- ・休み時間になると外に飛び出し、ひたすらドッジボールをしていた
- ・学校へ行って、級友と合うのが楽しかった
- ・放課後は宿題を済ませば、直ぐにグラブを持って学校へ行きソフトボールの毎日だった

B グループ 学校での校舎や建物の思い出

- ・木造ろうかをぬか雑巾で拭くととてもキレイで輝いていた
- ・雨が降ったときの遊び場として、屋根のある通路などで遊んだ
- ・給食がなく弁当持参で、ストーブなどであたためるとおいしい匂いがした
- ・牛乳がいつでものむことができた
- ・遊んだあとなどに好きなだけ飲むことができた
- ・小中同じで仲良くやっていた
- ・小中が同じ敷地内、部活を決めるきっかけはグラウンドでやっている先輩の姿が見られたから
- ・生き物が多くいて見たりふれたりすることができた
- ・木造校舎で、廊下の幅が広くて歩きやすかった
- ・グラウンドが大きい。小さいグラウンドに山があってみんなで遊んだ
- ・生徒数も多く、プレハブだった
- ・2階にプールがあるという目新しき、新しくてうれしかった
- ・体育館の床は土で、椅子は長く土足、映画を観た
- ・午前中登校と午後登校、空き教室がなかった
- ・体育館ではなく講堂でとても大きく感じた
- ・給食室からおいしそう匂いがした
- ・図工室の近くで遊ぶと、似顔絵を描いてくれることがあった
- ・小1で新設なのでまっさらできれい、図書室の本が少しずつ充実した

C グループ 学校での行事に関する思い出

マラソン大会

- ・耐寒マラソン後の漢字テストは、手がかじかんで書けなかった
- ・マラソン大会後に、豚汁やぜんざいを食べた
- ・かけ足練習のラストにマラソン大会があったが、児童数が多くて、縄跳び大会になった

球技大会

- ・生徒 vs 先生で盛り上がった
- ・クラス対抗で盛り上がる
- ・地区対抗リレーが盛り上がった
- ・足の速い子がモテた

駅伝大会

- ・平群中から信貴山まで走る

生徒会選挙

- ・生徒会長に立候補して、部活動の先生に怒られた

宿泊旅行

- ・林海学校
- ・修学旅行
関西旅行(奈良・京都)、大仏、鹿
移動の会話が楽しすぎて、新幹線にもみじ饅頭を忘れた

遠足

- ・バス酔い(補助席)
- ・阪奈道路のヘアピンカーブ
- ・手作りトイレ 先生が掘ってまわりを隠すだけ
- ・山登りで迷子の子呼び出し

運動会

- ・リレー
- ・応援合戦
- ・家族とのお弁当
- ・門(アーチ)の作成
- ・組体操
- ・騎馬戦
- ・地域別の対戦
- ・フォークダンスで好きな子との交流

学芸会・学習発表会

- ・文化祭
- ・音楽会
- ・英語で劇
- ・好きな女の子との交流が楽しかった。

【思い出共有編の小括(座長)】

皆さん、思い出としては一番遠いはずの小学校の記憶がもの凄く鮮明に残っている事が分かりました。やはり、小学校は特別な場所ということが伝わってきました。私も学芸会というようなキーワードを目にすると色々な思い出が出てきます。つまり、学校自体の思い出というのはいわゆる芋づる式のようにいくらでも思い出せるもの、つまり思い出の宝庫だという事が分かります。また、なんだかんだ言って皆さん楽しかったということが伝わってきました。

それと、各グループの発表をお聞きし、学校というのは変わらないようで実は時代によってそれぞれ変わってきていたということが分かりました。

面白かったのは、授業とか教室は思い出としてあまり出てこなかったということです。確かに、休み時間や行事の思い出が強く残っているのは分かりますが、これからは授業や教室ということも記憶に残る学校を作っていきたいものですね。

【未来の学びを共有編】

A グループ 昔はなかったけど今はあるもの

- ・カラフルなランドセル(軽い)
- ・一人一台端末
- ・インターネット
- ・エアコン
- ・水筒持参
- ・コンクリート
- ・洋式トイレ
- ・防犯、セキュリティ
- ・PC タブレット
- ・給食センター
- ・多目的トイレ
- ・生徒による地域奉仕活動

- ・一人一台タブレット
- ・給食
- ・いじめ
- ・ボランティア
- ・PC活用での授業。先日、孫が学校を休んだ時にPCタブレットで学校での学習状況をリアルタイムで見っていた。先生から、在宅の孫に対して声かけをしていたのには驚いた
- ・輪転機
- ・コピー機
- ・インターネット

B グループ 20年後に必要なと思われるスキル

- ・他者と助け合う力
- ・国際化で活躍できる語学力
- ・自分自身で生きる力
- ・機械等が補完してしてくれない力
- ・基礎学力
- ・他者との関わりを通して身につく他者を思いやる力
- ・一見「めんどくさい」と思えることに向き合う力
- ・他人を温かく思いやりが持てる力
- ・読書力
- ・未知のものに対するチャレンジ、やってみようという気持ち
- ・気持ちや思いを読みとれる力
- ・「個」を大切に「他者」を尊重できる力
- ・変化に対応する力
- ・コミュニケーション力
- ・豊かな心

C グループ 今、新入社員に持っておいてほしいスキル

- ・昭和世代は欲望が強いイメージ
- ・平成世代はゆとりのイメージ
- ・Z世代はうすいイメージ。主張がないイメージがあるので、もっと自己主張をして欲しい
- ・お互いを理解しながら、自分の考えをしっかり持って欲しい
- ・周りの人とコミュニケーションを取る能力が欲しい
- ・人づきあいが限定的なので、もっと広く関係を持てる力を持って欲しい
- ・文字でのやり取りが当たり前なので、対面でのコミュニケーション能力も身に付けておいて欲しい
- ・電話や対面で話す能力
- ・基礎学力は全てに通じ、自分の目標を立てるのにも必要
- ・考えを言語化する力
- ・正しい日本語能力
- ・謙虚な心
- ・たくさんの人との関わる経験をしておいて欲しい
- ・漢字を知らない人が多いので、漢字の学習もしておいて欲しい



特に小学校の思い出が強く残っていらっしゃるといのが印象的でした。



ここでも、特に小学校の思い出に関しては、何年経とうがしっかり覚えているものだというのが分かりました。

【座長のまとめ】

皆様、お疲れ様でした。今日は楽しい会議になって、最後に吉田さんが見事にまとめてくださいました。今日は、心を育てるとか哲学的な話も出ました。また、学校だけでできる事には限りがあり、家庭、地域、その他様々な人を含めてみんなで学校に関わっていき、そこで子どもと関わる大人がみんなで心を育てていく。そういう意味では、学校単独ではできないけれど、地域全体で子どもを育てていく可能性がいくつも見えてきて、今日の話題というのは学校づくりの基本的な考え方としてそのまま使えるんじゃないかと思いました。学校づくりはとても楽しいことです。楽しさのなかに、本音での自由な議論や時には常識を超えた考えが出てくることで、新しい、より良い学校づくりにつなげていくことが期待されます。この会は続きます。今日のような空気感を大切に、これからも進めていけたらいいなと思います。本日はどうもありがとうございました。

【事務局より】

皆様、お疲れ様でございました。今回のワークショップのご意見も踏まえて、今年度の成果物にうまく反映できるように事務局の方でこれから動いて参ります。第3回の会議の日程については、現在は1月ぐらいでイメージしています。その第3回で基本構想の素案を皆様に提示させていただき、それについてご意見をいただいた上で教育委員会で決めていくという過程になります。日程が決まりましたら改めてご連絡いたしますのでどうぞよろしくお願いたします。

【閉会の挨拶(教育長)】

本日はありがとうございました。

学校の存在って本当に一生物の思い出になるんだなということを再認識いたしました。だからこそ、これから作っていく学校で学ぶ子どもたちがどんな思い出を作っている学校にしていくのか、非常にわくわくしながら楽しみながら作っていきたいと思っています。後半の未来の学びについては、まさに今生駒市では、市長、副市長、教育委員会で第3次教育大綱を作っているところです。生駒市の子どもたちに、予測不能なこれからの未来を生き抜く力というのをどのように捉え、どんな教育を進めていくのか、これは生駒市全体で考えていきます。その考え方もしっかりと学校作りに反映させながら、本日いただいたご意見を活かして基本構想の素案を作っていきます。今日の会議の内容、その素案につきましても、保護者、地域の方々にも広められるように広報もしていきます。またそれを説明する機会を今年度中に設けたいと考えております。皆様方には今後ともご支援・ご協力をいただきますようによろしくお願いたします。本日はどうもありがとうございました。

以上